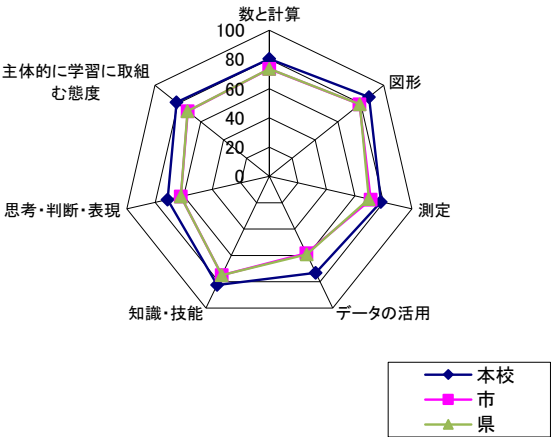


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	80.4	73.5	73.6
	図形	87.2	79.0	79.1
	測定	78.3	71.1	69.8
	データの活用	73.1	58.4	59.2
観点	知識・技能	82.5	75.0	75.0
	思考・判断・表現	71.4	62.1	62.1
	主体的に学習に取り組む態度	81.3	71.4	71.6



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○本領域の平均正答率は80.4%で、県の正答率を6.8ポイント上回った。 ○「余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明している」の平均正答率は76.9%で、県の正答率を16.6ポイント上回った。 ●「かけ算の筆算に出てくる数の意味を理解している」の正答率は41.3%、「 35×14 の工夫した計算のしかたを説明している」の正答率は44.2%であった。	・基本的な計算技能の向上を目指して、朝の学習などの時間を利用し、繰り返し問題練習に取り組む。 ・位をそろえて計算したり、数の大きさを考えたりすることができるよう、小数を扱う単元においても位取りに留意して問題を解けるよう指導する。 ・問題を筋道立てて考えられるよう、計算の工夫や応用問題などの発展的な学習を丁寧に扱っていく。
図形	○本領域の平均正答率は87.2%で、県の正答率を8.1ポイント上回った。 ○「円の半径について理解している」の平均正答率は86.5%で、県の正答率を10.3ポイント上回った。	・図形に関する理解や考え方を深めるため、形を分類したり、作図したりするという活動を積み重ねさせる。それに合わせて、方眼、ドット、白紙等色々な作図用紙に対応できるような機会を確保する。 ・具体物を用いて立体のイメージをもたせるとともに、デジタル教材などを活用し、平面にかかっている立体も認識できるよう工夫する。
測定	○本領域の平均正答率は78.3%で、県の正答率を8.5ポイント上回った。 ○「はかりの目盛りを読み取って、果物の重さを求めることができる」の平均正答率は69.2%で、県の正答率を11.4ポイント上回った。	・目盛りを正確に読み取るために、1目盛りの大きさに着目できるよう、長さ、重さなどを取り扱う単元では教材等を活用し、一人一人が実測して確認できる時間を確保する。
データの活用	○本領域の平均正答率は73.1%で、県の正答率を13.9ポイント上回った。 ○「複数の棒グラフを組み合わせたグラフを正しく読み取ることができる」の平均正答率は73.1%で、県の正答率を16.6ポイント上回った。	・グラフの読み取りの技能の習得にとどまらず、グラフを比較し、共通点や相違点を考えさせるなど、グラフを活用した指導を行う。 ・算数で学習した内容を、理科や社会、総合的な学習の時間などに活用し、継続的・横断的に指導していく。